

堀切地区まちづくりニュース 第4号

平成20年12月

発行：堀切地区まちづくり検討協議会



まちづくり先進地視察で佐原へ行ってきました！ 《H20.11.7 千葉県香取市佐原地区へ》

【佐原地区ってどんなところ？】

利根川の舟運で栄えた面影を残す歴史的市街地で、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。地元住民が設立したNPO法人「小野川と佐原の町並みを考える会」を中心に、地元の人たちの暮らしを豊かにする環境づくりと観光客のためのまちづくりとを両立して取り組んでいます。

他地区のまちづくりを学び、堀切のこれからの取り組みに活かすために、検討協議会と勉強会のメンバーを中心に、11/7に、佐原（千葉県香取市）へ行ってきました。



佐原の街並み。参加者みんなでまちあるき。

大切なのは、住民が住み続けたいと思えるまちづくりを進めること

住民が住みたいと思えるまちづくりが重要。そんなまちに観光客は自ずと来る（観光客優先のまちづくりではない）

まちの「宝」「本物」を活かすまちづくりが大切
まちをどうしたいかを住民が行政に伝え、共にまちを良くする関係をつくる！

など・・・佐藤事務局長と吉田さん（右写真）お二人から、堀切でもぜひ参考にしたいまちづくりの進め方のヒントをもらいました。



NPO法人「小野川と佐原の町並みを考える会」の佐藤事務局長（左）にまちづくりのお話をいただいた後、ボランティアガイドの吉田さん（右）に、まちを案内していただきました。お二人のまちへの愛着をひしひしと感じました。

参加者の感想～佐原への視察を終えて～

NPOの佐藤さんの「まちへの誇りと愛着」「まちづくりに取り組む熱意」に目が覚める思いだった。堀切をどんなまちにしたいのか！皆でとことん話し合うことが重要と感じた。

佐原は「街並み」という「地域の宝」を最大限に活かしている。堀切も、菖蒲園だけでなく、下町風情や職人の息づく匠のまち、など宝はたくさんある。ぜひまちづくりに活かしたい。

佐原の街並みづくりは参考になった。堀切も、下町情緒を感じる街並みや堀切菖蒲園の風景を活かした、統一感ある魅力的な街並みづくりを進めてはどうだろうか。

今、堀切では、まちの将来像を検討しているが、将来的には、佐原のように地域でまちづくりを実践する組織（NPOなど）が必要ではないか。

「(仮称)堀切地区まちづくり提案」の作成に向けて ～「防災」「地域活性化」「橋梁架替」の3つの視点で検討中～

商店会の方々と話し合っています！

地域
活性化
グループ

商店街や高齢者・子育て世帯等のコミュニティ、観光といった様々な視点から、「どうすれば堀切が元気になるか？」を考えています。今年度は、昨年度の検討成果である「活性化 20 のアイデア」をもとに、商店会の方との意見交換なども行ってきました。

今後は、堀切の活性化の目標や具体的な活性化策などについて検討を深めながら、「(仮称)地域活性化構想」の作成・まとめに取り組んでいきます。

橋梁架替を契機としたまちづくりの進め方を検討中！

橋梁
架替
グループ

国土交通省が計画している「京成本線荒川橋梁架替事業」の機会を周辺のまちづくりに活かすため、堀切四丁目を対象にまちづくり課題や道路・公園整備など具体のまちづくりを進める手法（地区計画制度）について勉強を重ねてきました。

今後は、その成果をどのように地元の方々に伝えていくかが課題となっています。

「復興まちづくり模擬訓練」へ参加して、復興の視点から、堀切の防災まちづくりを考えています。

防災
グループ

昨年は、「災害に強いまちをつくる」視点で、まちづくりを検討しました。今年は、訓練参加を通じて、「被災後のまちの復興」という視点から検討しています。

これらの成果を活かし、来年度以降、より具体的な防災まちづくりの計画を考え、提案作成に取り組む予定です。



訓練の今後の開催日程

興味のある方はぜひご参加ください！

【第3回】平成 20 年 12 月 14 日（日）13:30～16:30 堀切地区センター

【第4回】平成 21 年 1 月 12 日（月祝）13:30～16:30 堀切地区センター

～堀切地区のまちづくりに関する問い合わせは、以下にお願い致します～



堀切地区まちづくり検討協議会 事務局

葛飾区 都市整備部 街づくり推進課（加藤、石田、浅野）

電話 03-3695-1111（内線 2508）